

えぞ 松前藩と蝦夷地



えぞ
蝦夷地（北海道）を治めていた松前藩と、北方領土や千島列島に住んでいたアイヌの人たちとの交流は江戸時代の初め頃からありました。松前藩の記録によると、1615年（元和元年）にメナシ地方（東方の意味）に住んでいたアイヌの人たちがラッコの毛皮を松前藩主に献上したと書かれています。

◀アイヌの人たちの風俗を描いた江戸時代の資料

北方領土と千島列島が著されている最も古い地図

1644年（正保元年）に江戸幕府によって作られた「正保御国絵図」は北方領土および千島列島が著されている最も古い地図です。この地図には「くなしり」「えとろほ」「うるふ」など現在の島名と同じ名前がつけられています。

これは、ロシアのスパンベルグたちが最初に千島列島を調査して地図をつくったとされる1739年よりも約100年も前の地図です。

「正保御国絵図」（1644年）▶



江戸幕府による北方の開拓

1785年（天明5年）江戸幕府は、北方四島と千島列島の正式な調査と開拓にのりだしました。1799年（寛政11年）には、北方四島を幕府が直接治めることとし、近藤重蔵をその経営にあたらせました。近藤重蔵は最上徳内を案内役として国後島から択捉島に渡り、1800年（寛政12年）択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てて日本の領土であることを明らかにしました。



択捉島の北部カモイワッカ岬に建てられていた「大日本恵登呂府」の標柱▲

北方開拓に貢献した3人の人物



最上徳内



近藤重蔵

最上徳内は、幕府が派遣した最初の調査団に参加した一人です。「蝦夷草紙」にこの調査のことを詳しく書いています。近藤重蔵は択捉島に郷村制をしき、漁場を開いてアイヌの人たち



高田屋嘉兵衛

に漁法を指導するなど開発に努めました。商人の高田屋嘉兵衛は国後島や択捉島への航路の開設に貢献しました。こうした人々の努力によって北方四島の開発は進み、人や物資の往来がだんだん盛んになっていったのです。



近藤重蔵が作成した蝦夷地図 1802年（享和2年）▲

日魯通好条約（下田条約）

～日本とロシアが初めて結んだ国境の取り決め～

1855年（安政元年）伊豆の下田で「日魯通好条約」が結ばれ、両国の国境を択捉島とウルップ島の間と決めました。これにより、択捉島から南は日本の領土とし、ウルップ島から北のクリル諸島（千島列島）はロシア領として確認されました。

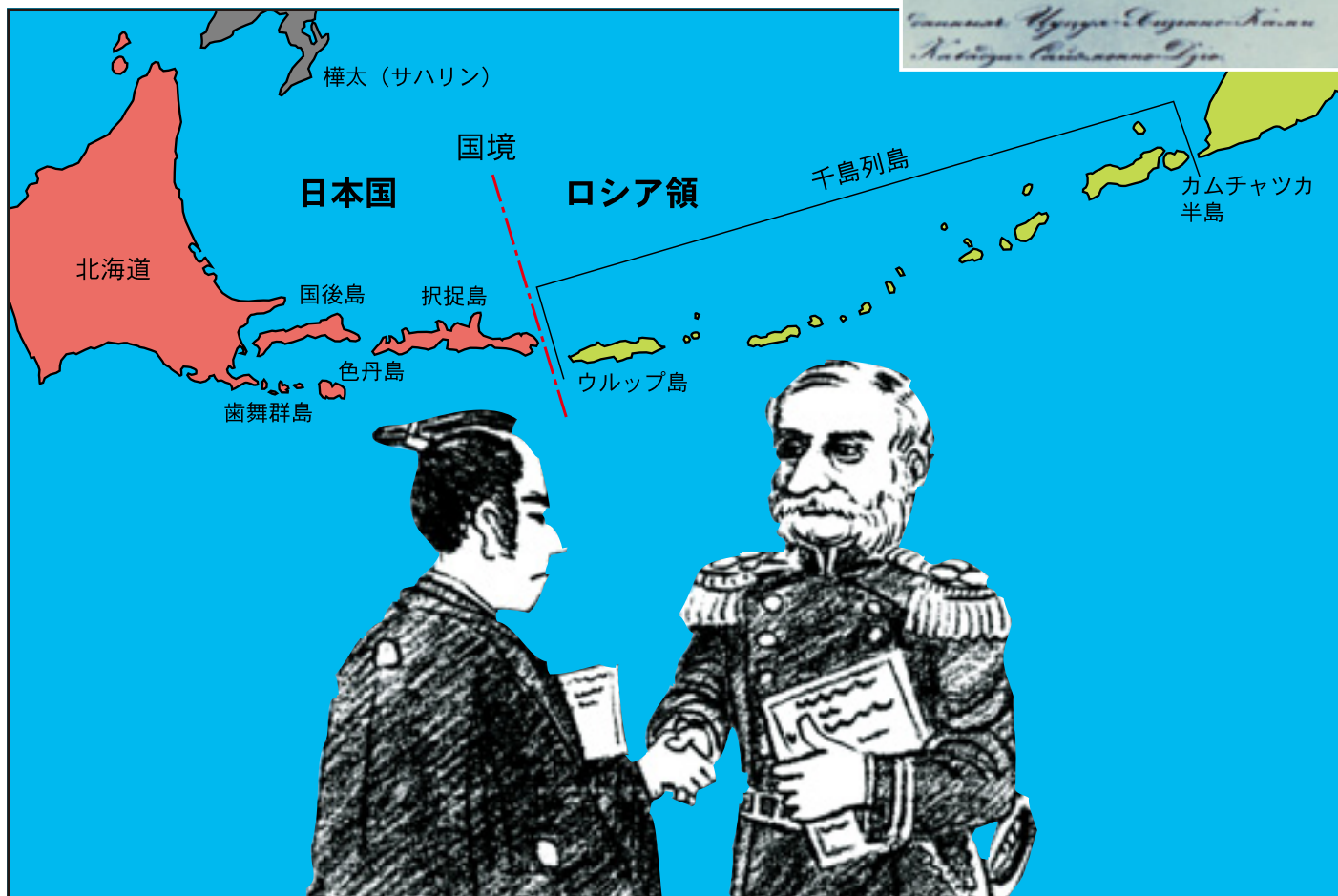


▲日魯通好条約（和文）



日魯通好条約（露文）▶

▼日魯通好条約にもとづく国境線



樺太千島交換条約

樺太では国境がなかったためにロシア人と日本人との間に争いや混乱が絶えませんでした。そこで明治政府は特命全権公使として榎本武揚をロシアに送り、1875年（明治8年）「樺太千島交換条約」を結びました。これは、日本は樺太におけるいっさいの権利を放棄する代わりに1855年にロシア領とした千島列島、すなわちウルップ島以北の18島を譲り受けるというものです。



▲ 榎本武揚



◀ 樺太千島交換条約（露文）



樺太千島交換条約に基づく国境線

「樺太千島交換条約」では、樺太の代りに日本が譲り受ける千島列島の島名をひとつひとつあげていますが、それはウルップ島より北の18島です。歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、この18島には含まれていません。

大正～昭和初期の北方領土の暮らし

大正時代の終りには色丹島に1村、国後島に2村、択捉島に3村ができ、歯舞群島は根室の歯舞村に属していました。北方四島は豊かな資源に恵まれており、漁港や水産物加工工場、さけやますのふ化場などの施設も整えられていました。



色丹島 斜古丹（しゃこたん）湾の漁港▲

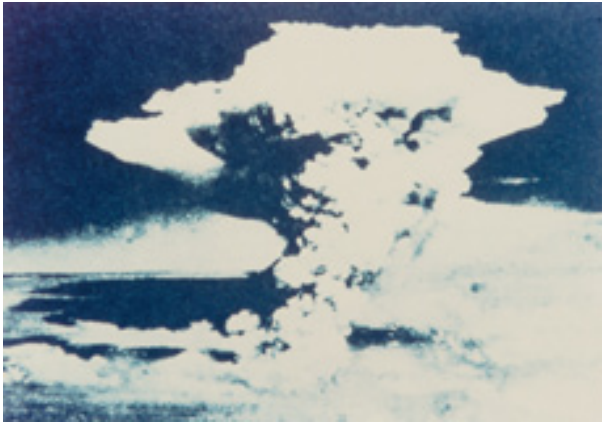


択捉島 紗那（しゃな）の家並▲

▼ 写真（右）／色丹小学校の運動会
写真（左）／のりの乾燥風景



戦争終結とソ連軍による 北方領土の占拠 ～ドキュメント～



1945年（昭和20年）

●8月6日 広島に原爆が落とされる。

●8月9日 長崎に原爆が落とされる。

ソ連は「日ソ中立条約」が有効だったにもかかわらず、同条約を一方的に破棄して敗戦の色が濃くなった日本に対し、参戦。

●8月15日 日本は「ポツダム宣言」を受諾し、終戦。

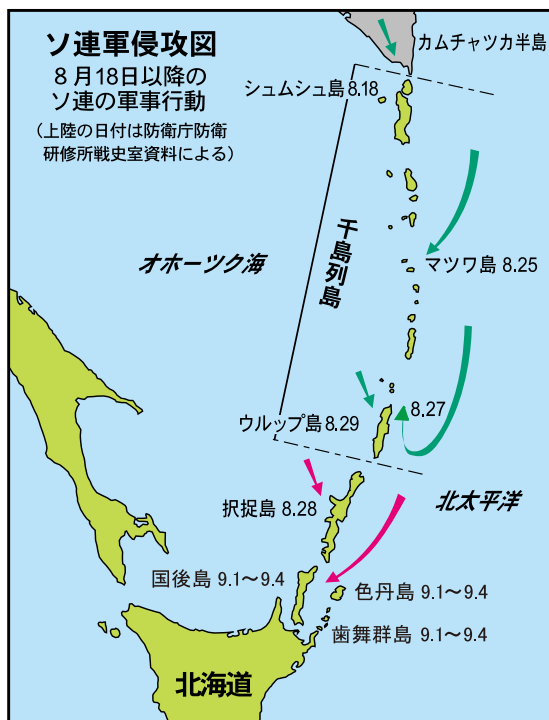
●8月18日 日本が降伏した後は攻撃を行わないという連合国の原則に反して、ソ連軍がシュムシュ島を攻撃。自衛しようとした日本軍との間で戦闘。

●8月23日 シュムシュ島の日本軍が武器を引渡し、停戦協定を結び、降伏。

●8月27日 ソ連軍、ウルップ島より引返す。

●8月28日 北方四島にアメリカ軍が進駐していないことを知ったソ連の別動隊が択捉島以南の島々を次々に占拠。

●9月5日 ソ連軍、北方領土の占拠を終了。



写真上より／広島に原爆
／終戦放送を聞く国民

ふるさとを追われた人びとの証言 ～ドキュメント～

ソ連軍の不法占拠により、島で生活していた人々の多くは恐怖と不安から島を脱出しました。島にとどまった人々も強制的に島を追われ、1947年から1948年にかけて

樺太やシベリア経由でたいへんな苦勞をしながら北海道などに移ることとなりました。こうして北方四島の住民はすべて追われてしまったのです。



歯舞群島の多楽島に住んでいた人の証言

終戦の報を聞いてからまもなく、ソ連兵が上陸したので脱出の機会をうかがっていました。舟の底に女子供を寝かせ、その上に漁具を乗せて隠し、ふだんのコンブ漁を装って何気なく岸から離れ、ポンポンと小型エンジンをかけて沖へ出ようとしていました。しかしその時です。ソ連兵がガヤガヤ言いながら船にやって来たのです。母親はまだ生まれてまもなく乳児を抱えていましたからその子が泣いては困ると思いながら必死に息を殺していました。

脱出した島民の遭難を目撃した人の証言

昭和20年10月28日に、国後島から脱出者30名あまりを乗せた船が大シケのために目的地の根室港を目前にして転覆してしまい、助かったのは2、3人に過ぎませんでした。その惨状を、たくさんの人たちに混ざって私も根室の浜辺で見えていましたが、大シケのために波が荒くてどうしても助けることができず、その光景たるや誠に悲惨なものでした。



択捉島から引き揚げさせられた人の証言

北海道か東京に連れて行くと言うことでしたので、とにかく北海道には行けるものと船に乗り込んだのです。船中で一週間留め置られました。私たちは船の一番下のハッチに押込められましたが、そのために船中で3人が死亡しました。ようやく船が出港し何日か経った頃、誰かの「小樽の燈台が見えるぞ！」と言う声に起きました。明け方でした。外を見ましたところ、全部白ペンキでロシア語が書いてあるのです。びっくりしました。結局のところ、船は樺太に寄ってからシベリアに向っていてだまされたのでした。

サン・フランシスコ平和条約



▲サン・フランシスコ平和条約に調印する吉田全権

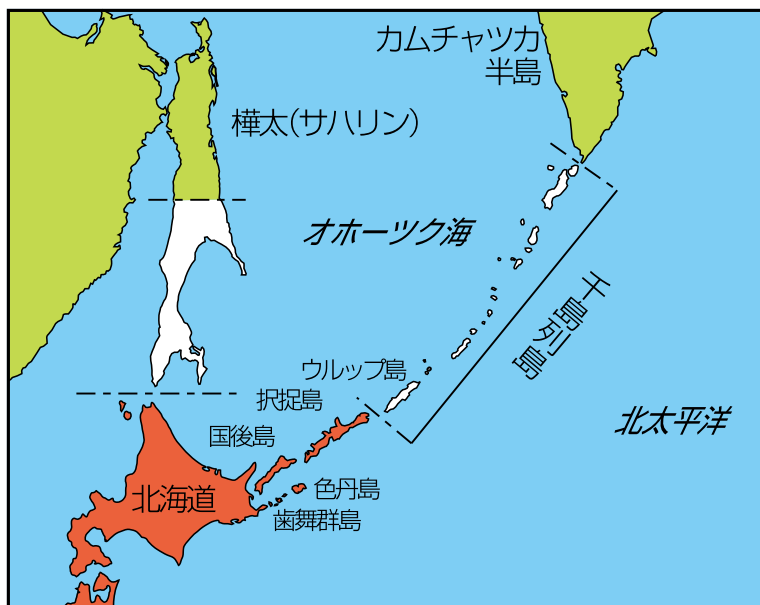
第2次世界大戦後の1951年（昭和26年）、サン・フランシスコで講和会議が開かれました。この会議で参加52カ国のうち49カ国が「対日平和条約」に調印したので日本はこれらの国々との間に戦争を終結して平和を回復し、国際社会に復帰することになりました。この条約では千島列島と南樺太の領有権放棄について次のように定められています。

第2条（領土権の放棄）

(C)日本国は、千島列島並びに日本国が1905年9月5日のポーツマス条約の結果として主権を獲得した樺太の一部及びこれに近接する諸島に対するすべての権利、権原及び請求権を放棄する。

サン・フランシスコ平和条約による北方領土の解釈

第2条でいう放棄した千島列島（クリル諸島）とは、「日魯通好条約」や「樺太千島交換条約」で定義されているクリル諸島（ウルップ島以北の18の島）をさし、日本固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は含まれていません。このことは1956年（昭和31年）のアメリカ合衆国の公式見解でも明らかにされています。



◀サン・フランシスコ平和条約にもとづく国境線

ソ連との国交のないままに…

1951年（昭和26年）、ソ連はサン・フランシスコ平和条約を不満として条約に調印しませんでした。本来、戦後の領土の

帰属は平和条約で決定するものですが、平和条約を結んでいない日本とソ連は国交を回復できないままになってしまいました。



▲ ソ連監視船に追われて逃げまどう漁船

▼ 抑留されていた人々が家族を思って作った手製の額



だ捕と抑留

北方領土がソ連に不法占拠されたままになっているため、根室地域の漁民は北方領土付近の海域からしめ出されてしまいました。ソ連は、日本の漁船がこの海域に入ると容赦なくだ捕するようになり、大きな問題になりました。だ捕された乗組員は短くて3ヶ月、長ければ4年くらいの抑留生活を強いられますので、一家の働き手を失った家族の苦労はたいへんなものです。

日ソ共同宣言～ソ連との国交回復～

日本はソ連と国交を回復するための努力を続け、1956年（昭和31年）10月、鳩山首相がモスクワにおもむいて平和条約締結のための交渉を行いました。領土問題をめぐって

の話し合いが何度も決裂し、結局、平和条約を結ぶには至りませんでした。が、「日ソ共同宣言」という形で両国の戦争状態を終結し、国交を回復することができました。



▲ 日ソ共同宣言に署名する鳩山首相（1956年10月19日）

国交は回復しましたが、領土問題が未解決のため、現在も日本とロシアの間には、平和条約が結ばれていません。